

2020 年度教育研究活動報告用紙（様式9）

氏名	篠木 賢一	職名	准教授	学位	修士（体育学 鹿屋体育大学 2001 年）
----	-------	----	-----	----	-----------------------

研究分野	研究内容のキーワード
体育方法学	幼児の運動能力 バレーボールの戦術

研究課題
子どもの喫食上の問題行動に関わる要因を、咀嚼能力・運動能力との関連について考察する。

担当授業科目
スポーツ実技、運動と健康、こどもの運動あそび、こども学基礎演習、こども学特別演習、保育・教職実践演習（幼稚園）、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ、保育所実習Ⅰ・Ⅱ

授業を行う上で工夫した事項（※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項）
<p>授業科目名【 こどもの運動あそび 】</p> <p>子どもたちのあそびを実際に行うことによって、体験的に運動発達の理解を促している。また、運動あそびの果たしている役割を理解し、「あそぶ力」と「あそびを発展していく力」を身につけるために、指導・補助のポイントや安全管理について解説し、グループワークを通して実践力の向上を図っている。</p>
<p>授業科目名【 運動と健康 】</p> <p>運動・スポーツが体に及ぼす効果や、運動によって健康・体力の維持、増進させる方法について学生の理解を深めるために、さまざまな事例を用いて解説している。</p>
<p>授業科目名【 こども学特別演習 】</p> <p>子どもの運動あそびや健康を中心としたテーマを学生の興味・関心に沿って決定し、実践に生かせる研究活動を行っている。まとめた研究結果はオープンキャンパスで展示し、公表する機会を設けている。</p>
<p>授業科目名【 保育・教職実践演習（幼稚園） 】</p> <p>様々な角度から保育をとらえる視点が育まれるように、現場保育者の実践事例検討を行った。また、模擬保育では、これまで授業や実習を通して学んだことを活かしながら、2人1組で指導計画を作成し、準備・実践までを行った。子ども役は保育者が要求する年齢の子どもを演じるために、子どもの姿を表現することが必要になる。観察者は客観的に保育全体を観ることが必要になる。これらを通して、学生に保育者としての意識が高まるように配慮した。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
九州・体育スポーツ学会	会員	1997年～
日本保育学会	会員	2012年～
日本バレーボール学会	会員	2013年～

2020年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(2) 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等

団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
九州大学バレーボール連盟 附属シオン山幼稚園「運動あそび」 九州大学バレーボール連盟	女子強化委員 講師 競技委員副委員長	2006年～現在に至る 2013年～毎月1回程度 2013年～現在に至る

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)

大学キャンパス・ハラスメント防止・対策委員 2017年度～現在に至る 教育経費予算配分委員 2018年度～現在に至る 排球部 監督 2014年度～現在に至る
--